

# 道路協力団体の活動について

近畿地方整備局 奈良国道事務所

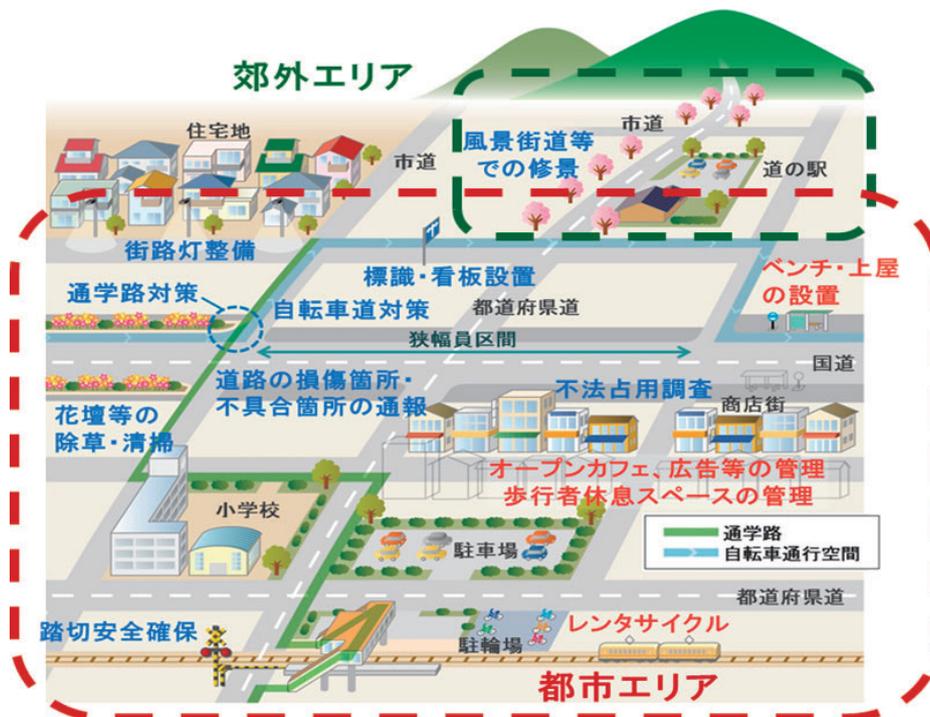
## 1. 奈良国道事務所管内における道路美化の取り組みの現状

奈良国道事務所では、地域の道路をより美しく快適に利用したいという道路利用者や地域住民の皆様のニーズに対し、民間ボランティア団体等のご協力も得ながら、迅速かつ、きめ細かに対応をしてきました。

道路管理予算の縮減に努める一方で、橋やトンネルなどの道路施設の老朽化が進行し、メンテナンスが喫緊の課題となるなど、道路施設の修繕に必要な費用が増加傾向にあります。そのため、除草や清掃など日常的な管理にかかる予算の確保が一層厳しくなっており、道路美化に関するご意見・ご要望についても道路の通行に支障のない必要最小限度の頻度での対応となっています。

## 2. 道路協力団体制度

本制度は、道路の清掃や陥没等の異常発見といった、道路における身近な課題の解消や道路利用者のニーズへきめ細かな対応などに自発的に取り組む民間団体等を支援するため、平成28年4月、道路法の改正により創設されました。道路管理者と連携して業務を行う団体として法律上位置づけることにより、自発的な業務への取組を促進し、地域の実情に応じた道路管理の充実を図ろうとするものです。



道路協力団体活動イメージ

道路協力団体に指定されると、これまでの道路清掃だけでなく、例えば花壇の整備といった軽易な工事や、歩行者休憩スペースのベンチや案内板の設置、さらにはオープンカフェやレンタルサイクル等の購買施設の設置・管理ができるようになります。

通常であれば、いわゆる無余地性や営利を目的としない公共性の原則により道路区域内に収益を得る店舗や施設を設置することはできませんが、団体の自主性のみならず収益性をも考慮する観点から、道路の魅力向上のための活動で得た収益を道路管理活動に還元することが可能となりました。このほか、道路に関する工事等の承認や占用等の手続きが円滑化・柔軟化されます。

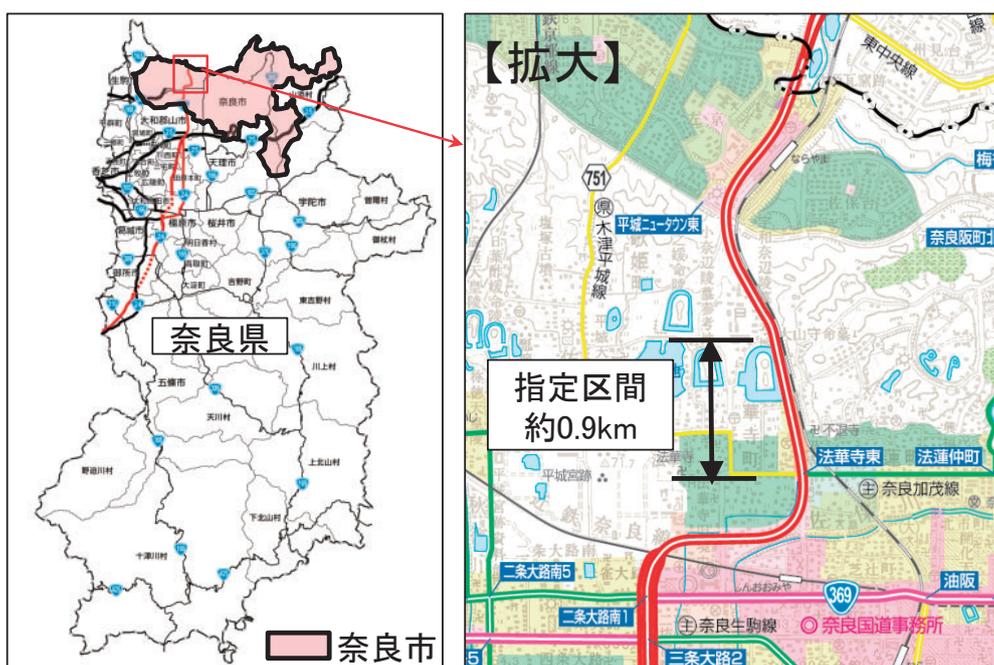
さらに、令和元年の道路協力団体指定準則の改正により、これまで道路に関する工事又は道路の維持を実施する区間内のみでしか収益活動ができませんでしたが、清掃活動等他の業務での活動実績があれば、その実績がある区間においても収益活動が可能となりました。また得られた収益はこれまで道路に関する工事又は道路の維持にしか充当することができませんでしたが、他の業務にも充当することができるようになりました。

令和2年3月末現在、全国で35団体が直轄国道の道路協力団体に指定されています。

### 3. 「NPO 法人奈良好き人のつどい」について

「NPO 法人奈良好き人のつどい」は、奈良が持つ歴史、文化、自然等を活かし、奈良の文化・観光を活かした諸事業等を行い、奈良の経済の活性化に寄与することを目的として、平成21年1月に任意団体として設立され、平成22年3月に特定非営利活動法人として認証されました。奈良に対し深い愛情を持つメンバーが、各種シンポジウムや講演会の開催や奈良県内の寺社仏閣との協議、「東大寺薬湯」等の頒布、世界遺産都市連絡会議への参加といった、1300年の歴史ある奈良の伝統を守りながら新しい奈良の歴史を発掘する様々な取り組みを展開されています。

そのような活動に取り組まれる中、古都奈良にふさわしい道路景観を保ち、沿線の魅力向上につなげたいとの思いから、奈良市中心部への玄関口である法華寺北町～法華寺東町付近の国道24号において、平成24年より地元法華寺町自治会や沿線の奈良市立一条高校の生徒と協力し歩道の清掃活動に取り組んでいただいていた。そして、より充実した活動を展開していきたいとの思いから道路協力団体制度の趣旨に賛同され、同団体の指定を受けるべく申請をされました。平成28年12月に近畿地方整備局管内では初めてとなる道路協力団体の指定を受け、令和2年6月に指定の更新がなされました。



奈良好き人のつどいの活動範囲



歩道上の清掃活動の様子



R2.6 道路協力団体指定証（更新）授与式

#### 4. 道路協力団体「NPO 法人奈良好き人のつどい」の活動

道路協力団体の指定を受けて以降、「NPO 法人奈良好き人のつどい」では、国道 24 号の歩道の清掃の回数を増やして実施しています。今後も地域自治会の皆様や一条高校の生徒等、より多くの皆様に参加していただいて道路愛護精神の高揚を図り、奈良にふさわしい国道にしていきたいと考えています。

その他の活動としては、一条高校前の国道 24 号の歩道上にて、ナスやジャガイモ、万願寺トウガラシといった地元産の新鮮な野菜を安価で販売する物販イベント「R24 道の市場」、併せて奈良国道事務所の事業や取り組みを紹介する「ならこくパネル展」を開催することにより、多くの方々にお越しいただき、道路協力団体の活動をアピールしています。この「R24 道の市場」で得られた収益で清掃活動に利用する用具等を購入するなど、今後も継続的に開



「R24 道の市場」と「ならこくパネル展」の様子

催することで沿線の行事として浸透させ、また収益を安定して上げることにより道路清掃の充実が図られる好循環が生まれることを期待しています。

このほか、道をテーマに奈良の過去と未来を考えるための「奈良を学ぶ勉強会」を開催し、各分野の専門家の皆様と「大和の古道」「古代の道の役割」「道がつなぐ奈良の未来」等について議論しました。その議論の内容をまとめた冊子「つなぐつづく道～古代から未来へ～」を発刊し、その冊子を用いて一条高校の人文科学科の2年生の授業の一環として、講演会を開催しました。第1部では奈良の古道や現在の道、未来の道（京奈和自動車道）について講義を行い、第2部では生徒の皆様から「これから造ってほしい道」について意見を発表してもらい、「奈良市から吉野や白浜、高野山や伊勢方面への直線道路」や「歩行者にやさしい道路（車と歩行者を分離）が増えてほしい」などの意見がありました。このように様々な活動を通して交流の場を広げ、道路愛護の啓発に取り組んでいます。



勉強会風景



小冊子の表紙



一条高校での講演会の様子

## 5. 道路協力団体の活動における今後の課題

前述のような道路協力団体の活動を協力して進めるにあたり、私たち道路管理者の立場としても、経験の乏しい収益活動について、道路協力団体と共に調整を重ね手探りで進めてきました。今後は、より集客や収益が見込める開催場所や開催時期の検討、そして内容面でも更なる工夫が必要だと感じています。

また、今年新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、清掃活動や「R24 道の市場」も中止を余儀なくされました。より多くの皆様に参加していただき道路に親しんでいただきたかったところですが、感染の予防に配慮しつつ新しい生活様式との調和を図り、道路協力団体の活動を発展させていくため更なる工夫が必要と感じています。まずはこのコロナ禍が一日も早く収束し、活動が再開できることを願っています。